

たたらリハビリテーション病院歯科

安心でアットホームな診療を心がけています

私たちは「安心安全な医療の提供」を心がけ、歯医者に対して恐怖心や緊張等の不安を抱える方々の気持ちに寄り添い、治療の話だけでなく世間話をしながら、安心できるアットホームな診療を心がけています。

超高齢社会の今、お口のフレイルが原因で日常生活の衰え、社会活動への参加意欲の低下など要介護状態に近づくことを防ぐためにも、口腔機能低下症の検査を行い、口から食べることやしゃべることを生涯に渡って楽しんで頂きたいという思いで機能訓練指導も行っています。



スタッフ一同 笑顔でお迎えしています

入院患者の口腔ケアも充実

病院歯科として、入院患者様の口腔ケアや治療に加え、病棟スタッフと連携して、口の不快感や不衛生な口腔内環境から起こる誤嚥性肺炎予防の取り組みにも力を入れています。

診療科：一般歯科、小児歯科、口腔外科

診療時間：午前／月～土 9:00～12:00

午後／月・金・土 13:30～16:30

夜間／火 17:30～19:00

詳しくはお問合せ >> 092-691-5840



時節の写真 春と夏

病棟での花見にて



花に癒され笑顔がこぼれます

※本人の許可を頂いています

ゴーヤでSDGs

SDGsの取り組みとして、ゴーヤのカーテンが正面玄関横にあります。CO2削減だけでなく建物の直射日光を遮って、室内の温度上昇を抑える効果があるといわれています。



ゴーヤも大きく育っています

たたらリハビリテーション病院通信

たたら

vol. 58
2025年9月号

戦後80年、平和への願いを届けよう ～2025平和写真展を開催～



いま世界では戦争や紛争が拡大し、混沌とした状況が続いています。そんな中、日本は今年戦後80年を迎えました。二度と戦争を起こさない、起こさせない、核をなくそうとの想いを込めて、平和写真展を8月4日～23日の期間で開催しました。

被爆の写真や高校生が被爆者から直接聞き取って描いた絵画、病院職員からのメッセージなどを展示しました。面会時に入院患者さんと一緒に写真展を観に来た家族の方から、「終戦時は8才で当時の記憶が蘇ってきて、孫たちも含め当時の話をたくさん聞かせてくれました。高校生の絵もリアルで状況が鮮明に見えた感じがしました。良い機会を与えて頂きありがとうございました」との感想が寄せられました。その他にも「戦争とはこんなにも惨いことを知ってほしい。悲惨な経験は誰もしてほしくない」との感想も寄せられるなど、反響が大きい写真展になりました。



高校生の絵には、生徒や証言者からのコメントも一緒に展示



発行元／公益社団法人福岡医療団 たたらリハビリテーション病院広報委員会

〒813-0031 福岡市東区八田1-4-66 TEL:092-691-5508 FAX:092-691-5634

<http://www.tatara-reha.jp> たたらリハビリ



たたらリハビリテーション病院は、日本医療機能評価機構認定病院です。

安心安全の医療を提供するため

病院機能評価を受審し認定されました

2025年3月17日～18日に、日本医療機能評価機構から病院機能評価について審査を受け、「慢性期病院」としての機能を主に、「緩和ケア病院」としての機能も合わせて認定されました。これは、患者さんが適切な医療を安心して受けられるよう、医療の質や病院の機能を中立的・科学的な見地から第三者機関より評価して頂くもので、今回5回目の認定となります。

審査を受けた病棟より、準備から当日までのとりくみや想いを寄せて頂きました。



職場のラウンドでは、様々な質問や意見が出されました

今回は医療療養病棟におけるレクリエーション活動や介護の取り組みに加え、退院支援における多職種による積極的な関わり、終末期ケアの取り組みなどが高く評価をされました。受審に向けては、日頃の取り組みを整理し、どうやって表現を行えばよいか悩むことも多く、準備を進める中でかえって混乱する場面もありました。日頃のケアがより適切に伝わるよう、病棟医師を中心に看護師、介護福祉士、リハビリスタッフ、薬剤科、栄養科、医療社会科などを含む多職種で協力し、繰り返しリハーサルを行いました。

当日は緊張しながらも、チーム一丸となって大きな混乱もなく、落ち着いて対応することができ、これまでの努力が実を結んだと感じています。

今回の受審を機に、私たちのケアのあり方をあらためて見つめ直すことができました。今後も継続的なケアを大切にしながら、より質の高い医療と介護の提供を目指していきたいと思います。(6階病棟・師長 山口友子)

新入職員のご紹介

今年度、当院に8名の新卒職員(看護師5名、リハビリ技師3名)が入職し活躍しています。よろしくお願いいたします。



6F病棟・看護師
まつお



5F病棟・看護師
のりつぐ



5F病棟・看護師
しのはら



4F病棟・看護師
ところ



3F病棟・看護師
みやざき



リハ技術部PT
科理学療法士
あだち



リハ技術部OT科
作業療法士
いでい



リハ技術部PT
科理学療法士
たぐち

疾患別リハビリ教育入院 30日間の徹底したリハビリテーション入院を通して、課題となる動作について経験豊富なセラピストと一緒に改善をめざします

こんなお悩みありませんか？

- ✓ 最近よくつまづく、転倒する
- ✓ 膝・腰の痛み、力の入りにくさに悩んでいる
- ✓ 少し動いたら息がきれる
- ✓ 後遺症の改善をあきらめたくない
- ✓ 生活でできることを増やしたい
- ✓ ろれつが回りにくい

» そのお悩み解決します。ぜひご相談ください。

3つの特徴

- 1 徹底したリハビリを実施し、科学的根拠に基づいた治療で改善をめざします
- 2 1人ひとりの症状に最適なプログラムを提案します
- 3 退院後の自主訓練方法や生活に役立つポイントまでサポートします

入院条件

- 1 リハビリに意欲的で積極的に行える方
- 2 講義や自主訓練内容の理解が得られる方
- 3 1人で座れる方
- 4 主治医が許可した方

整形外科コース



▶ コース紹介 ▶

対象例
変形性膝関節症・変形性腰椎症など

コースの特徴

- 自分の身体の特徴や最適な運動を知ることができます。
- 痛みに対する正しい知識や患部への負担が少ない動き方などをお伝えします。(資料をご呈示し講義形式で実施)
- サポーター・補装具のご提案を行います。

脳血管コース



▶ コース紹介 ▶

対象例
脳卒中片麻痺

コースの特徴

- 自分の身体を整えていくノウハウが身につきます。
- 筋力・体力の向上、活動範囲の拡大が期待できます。
- 自主訓練などのセルフケアの習慣が身につきます。
- お悩みに応じた自助具を3Dプリンターで作成し、提供しています。

呼吸器コース



▶ コース紹介 ▶

対象例
慢性閉塞性肺疾患

コースの特徴

- 呼吸に使う筋肉をトレーニングし、呼吸をスムーズにします。
- 息苦しさを軽減し、いきいきと充実した生活に近づけます。
- 活動量計の分析結果を基に、生活リズムをご提案します。

フレイルコース NEW!



▶ コース紹介 ▶

対象例
加齢に伴う筋力低下、活動性低下により日常生活に支障をきたしている方

コースの特徴

- ご年齢・身体状況に応じた運動時間・強度をご提案します。
- 筋力と体力をつけることで、生活範囲が拡大します。
- 退院後も個別性に応じた自主訓練メニューを提示し、運動習慣が獲得できます。